

9/28

あなたの世界が暗く、脅かしに満ちているように見えるとき、わたしのもとに来なさい。わたしが聞き、あなたを心配しているを知って、あなたの心をわたしの前に注ぎ出さなさい。わたしの主権に慰めを見出さなさい。たとえ世界で起こっていることがどんなに破天荒で制御不能に見えるときでも、わたしは休まずに支配し管理制御している。実際に多くの物事が、あるべき姿となっておらず、わたしに造られた本物の姿となっていない。あなたが完璧なよさに憧れるのはよい。いつの日か、その憧れは素晴らしく満たされるから。

ユダを侵略しようと、バビロニア軍が迫っていたときの預言者ハバククのことを考えてみなさい。ハバククはその攻撃が残忍なものになると知っており、その予言的知識のゆえに深く葛藤した。それでも最終的に、わたしへの絶対的確信を詩としてしたためた。全くの絶望的な状況を説明した後に、ハバククはこう結んだ。しかし、私は主にあって喜び勇み、わたしの救いの神にあって喜ぼう。

あなたの抱える心配事について、わたしと自由に格闘しなさい

ハバクク 3:18

しかし、私は【主】にあって喜び躍り、わが救いの神にあって楽しもう。

ハバクク 3:19

私の主、【神】は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。指揮者のために。弦楽器に合わせて。

詩篇 42:5

わがたましいよなぜおまえはうなだれているのか。私のうちで思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。